

DVD『熊本市 戦後教育史』を作成

熊本県退職校長会
会長 中村貞夫

風格のある退職校長会、感動のある退職校長会、そして存在感のある退職校長会が私たちがめざす退職校長会のビジョンであります。熊本市退職校長会（会長、大森 勲）が設立40周年をむかえるにあたり、記念事業の一つとして作製したのが、『映像で綴る熊本市戦後教育史』であります。3年前に熊本市退職校長会は、『熊本市教育遺産資料集』を刊行いたしました。市内幼小中14校が保管する絵画、書、記念碑等を一冊にまとめ、あの学校に行けば、ベヒシユタインのピアノが、新渡戸稲造の書があると写真と解説でまとめたガイドブックであります。そして熊本県退職校長会は、新版『熊本教育の人的遺産一〇〇』をあいっいで出版しました。さら星の

ごとく、熊本教育の歴史を担った方々の現代教育、人の生き方への提言書であります。熊本第一高女ドルトンプランの吉田維孝、熊本県女子師範学校初代校長、新莊義人等100人の先達が登場しております。この二つの労作を含めての三部作としてまとめられたのが、『映像で綴る熊本市戦後教育史』であります。熊本市教育センターが平成3年刊行しました『熊本市戦後教育史』資料編、通史編の三千ページにわたる膨大な資料を映像で綴ろうという企画であります。現在第一部昭和20～26年、模索と基礎づくり、昭和27～35年、試練の中の教育復興。第二部、昭和30～45年、経済成長に伴う教育の整備と拡充が完成し、各学校、公民館、図書館等に配布されたところであります。

第一部の内容としましては新制中学校発足の歴史、作曲家家岩代浩一氏の校歌作成にまつわるエピソード、旧制中学校、高女から派遣された初代校長の教育理念等、興味津々です。第二部ではPTAの創設、学校給食の始まり、小中学校の結成、学校の災害と安全教育内容の充実では、社会科学を中心とした経験学習から系統学習へ、臨海学校、プール、修学旅行、生徒会、部活動と内容も多彩です。20名のプロジェクトチームを編成しての作業のスタートでありましたが、古い動画の不足、ニュース等では版權の問題、古い時代を知る先輩方の高齢化等、多くの困難な問題に直面いたしました。超高齢者のインタビューは早目早目にと、VTR、フィルム等はマスコミにもお願いして東奔西走の取材活動が続きました。スタッフのご苦労は大へんであったろうと推察いたします。スタッフの方のお宅の一室をお借りして編集と録音、BGMの検討、ナレーションの音合わせと大変な作業であったとお聞きしております。

唯今、総集編としての第三部の制作に入っておりますが市長や教育長のコメントもお願いできたらと予定しているところです。配布しました各学校をはじめそれぞれの機関では大変歓迎され感動をもって活用されているようであります。この映像を通して、かつての『われらが信ずる教育は、われらが信ずる学校は』と誇り高き教育都市熊本復活への一つの架け橋として捉えて頂ければ有難いと願っております。戦後の熊本市の教育、まさしく今、輝きの時でありました。

